



年 組 名前

道新ワークシート

A市で予算額最大

道内主要12市 高齢化で扶助費増

人口減にもかかわらず、北海道の自治体の予算規模が膨らんでいる。

自治のかたち

人口上位12市のうち、11市の2026年度一般会計予算は10年前から約7%増え、半数の6市で過去最大を更新した。子育て世代や高齢者への

2026年度の人口上位12市の一般会計予算と人口

	予算額	人口(4月1日)
★札幌市	1兆3185億円(40.8)	195万2700人(0.6)
★旭川市	1818億円(15.7)	31万335人(▲9.7)
★函館市	1541億円(13.1)	23万892人(▲13.5)
釧路市	1099億円(13.1)	15万200人(▲14.3)
苫小牧市	900億3700万円(15.7)	16万3342人(▲5.8)
★帯広市	1020億6100万円(21.9)	15万8462人(▲5.6)
小樽市	680億9400万円(20.2)	10万1671人(▲16.7)
★江別市	618億5千万円(33.2)	11万7363人(▲1.4)
北見市	782億9600万円(10.6)	10万6986人(▲11.1)
1市	485億円(▲3.6)	7万2276人(▲14.3)
★2市	628億600万円(66.4)	9万6592人(1.2)
室蘭市	450億7700万円(6.7)	7万2370人(▲17.7)

※かっこ内は16年度と比較した増減率(%)。▲はマイナス。札幌、旭川、千歳、江別を除く自治体の人口は26年と16年のそれぞれ3月末との比較。★は26年度の予算額が過去最高

B
る人口
歳出
B
らず

支援拡充で扶助費など歳出が拡大。インフラ更新費も重く、投資的経費やサービス削減する自治体もあり、住民生活に影響が出ている。少子高齢化と人口減はさらに進み、自治体は一層難しい財政運営を迫られる。26年度の12市の人口(4月1日)は、札幌市と千歳市を除く10市で16年度と比べて約1~18%減少。一方、予算規模は岩見沢市以外で増え、中でも千歳市は約66%増の628億600万円、札幌市も約41%増の1兆3185億円で、過去最大となった。各自治体で扶助費や人件費、公債費など義務的経費を中心に歳出が拡大した。26年度予算の扶助費が16年度比14.2%増の472億3600万円となった函館市の財政課は「高齢化や介護士の処遇改善で介護給付が増えている」と話す。

2026年 5月4日(月) 朝刊 全道版 2ページ (記事は再編集しています)

- (1) A に入る数字を、表を手がかりにして書きなさい。
- (2) B に入る言葉を、記事の中から探して漢字一字で書きなさい。
- (3) 1、2 に入る市の名前を記事の中から探してそれぞれ書きなさい。
- (4) 表の読み取りとして正しいものを一つ選びなさい。
 - 表の中の市は、予算額の多い順に並んでいる。
 - 表の中の市は、人口の多い順に並んでいる。
 - 苫小牧市は帯広市より人口が多いが、予算額は帯広市よりも少ない。
 - 小樽市は江別市より人口が多いが、予算額は江別市よりも少ない。